

※ 地域の課題共有から、28年度は一步踏み込んで...

【平成28年度】 在宅医療カフェの進め方

米原市の在宅死27位・長浜市は97位／全国1740市町
(平成26年1月～12月)



長浜米原地域医療支援センター
今井享子

在宅医療カフェの概要 (H26～H27年度)

開催地	中学区単位	《26年度》				《27年度》				合計人数
		(第1回) 高月町	(第2回) びわ地区	(第3回) 西中学区	(第4回) 近江地域	(第5回) 余呉町	(第6回) 浅井町	(第7回) 南中学区	(第8回) 山東	
開催日時	15:00～16:30	6/21(土)	9/13(土)	11/22(土)	2/12(木)	6/20(土)	9/12(土)	11/21(土)	3/12(土)	
参加実数	人	22	41	27	30	37	26	25	28	236

アンケート	76.40%
-------	--------

平成26年・27年は湖北の8中学校区を巡回し、開催地域の現状と課題についてカードを使って整理⇒その現状から「住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためにはどうすればよいか」について話し合い⇒スローガンを立案⇒発表というスタイルで実施。28年度はどの地域にも同じような課題が集中するために、その共通課題を切り口に話し合い⇒現状の課題からあるべき姿を立案⇒その方策（目標を達成するための手段）について討議。各グループに進行役を配置し皆さんから活発なご意見を伺います。

	67
	113
	74
	101

《話題》

27年度スローガン				
浅井町	サロンの形成化と、世代を通して価値観の歩み寄り	皆で繋がろう！！	医療や福祉に知識を地域に伝えよう！	みんなで知ろう！考えよう！
南中学区	繋がろう！南中学区	元気な高齢者になって社会参加しよう！ 活気ある街づくりを	ほどほどの関係（陽だまりのような）で市と連携	
山東エリア	お互いを知ろう！	人との繋がりを見つめ直し（再構築） 地域の活性を	行政に物申す！①子供と老人に公平な助成を ②カモンバス運用の見直し	目指せ お付き合い！ 地域・人・先生も連携

意見交換の内容	全体的な課題と特徴	地域の課題と特徴
人口構成	少子高齢化の進行 高齢世帯が独居（日中独居） 認知症の増加 老々介護 認認介護 後継者がいない 産業がなく若者流出	自治会人口の格差（浅井）ドーナツ化現象・限界集落（西中）・人口減少
人間関係	コミュニティの希薄 世代間交流の不足 考え方や価値観の相違 個人情報保護法がネックになり踏み込めない	人がよい・ちよこっとサービスの推進・人口減で中間層の役割が増加し負担（余呉） 3世代同居でも交流がない（浅井）
住環境	交通手段に乏しい（不便） 空き家の増加 団地やアパートで人口増と人口減の地域に二極化 カモンバス（循環バス）が効果的に運用できていない 車がないと受診や買い物に不便	雪のイメージが強い・伝統文化が継承できない（余呉） 獣害（浅井・余呉） 水害で避難勧告：高齢者だけでは不安（びわ町）エリア（山・里・海）が大きく 中学区で括れない（浅井・南中） 新興住宅地が今は高齢化（浅井）
医療福祉環境	旧長浜市に診療所や薬局、事業所が集中し平均的でない 多職連携ながまいnet研究会発足し、地域連携・ネットワークは整備しつつある あさがおネットのユーザー拡大も活用には促進が必要	常勤医師がいない・検死が多い（余呉） 湖北病院が訪問診療を開始 今は充実しているが10年先20年先は分からない・・・後継者問題（高月） 山東エリアには調剤薬局がない（薬の相談場所）
その他	自分に振りかからないと介護保険など制度が浸透しない（知識不足）	相談先が分からない・ボランティアには限界で助成が必要（浅井）

= 26～27年度：実施カフェの共通課題をまとめると =

高齢社会に関する課題（1）

- ❁ 独居世帯の増加（→空き家の増加）
- ❁ 高齢者世帯の増加
- ❁ 認知症の増加（虐待）
- ❁ 老々介護
- ❁ 認々介護
- ❁ 地域に子供がいない（限界集落）
- ❁ 若者の流出（産業が少ない）
- ❁ 移動手段が不便（受診・買い物）
- ❁ 災害時（水害）の不安

人との交流に関する課題（2）

- ❁ 世代間交流がない
- ❁ コミュニティの稀薄
- ❁ 男性の社会参加が少ない（サロン）
- ❁ 考え方や価値観の相違
- ❁ 個人情報保護がネックになり踏み込めない
- ❁ 自分に振りかからないと、介護保険の知識やエンディングの意識が浸透しない



（表1）

※（1）（2）の中から、話し合う切り口（課題）を選んでください。

= 話し合いの進め方 =

(最終的に達成する事が目的)

10年先、20年先も、住み慣れた地域で安心して暮らし続ける事ができる。

① 目標 = 「目的」を達成するために目指すべき行動やその道筋を示したもの

※ 例えば・・・

(1) 元気高齢者の力が地域で発揮できる

(2) 人との会話がある地域

② 方法

その目標を達成するために、方策を出し合って協議しましょう(カード法を活用)

「自分にできる事、地域でできる事は何か」・・・目標達成の手段(方法)

※ 例えば・・・

(1) 「私の出番」づくり

(2) 自分から先に挨拶する

③ グループのスローガンを立案 (主義・主張・標語)

④ 模造紙にまとめましょう

⑤ 発表タイム ⇒ 15:15～

⑥ まとめ(感想) ⇒ 15:30アンケート記入後、閉会

現状 (表1参照) の課題・・・高齢社会に関する事、人との交わりに関する事
(話し合う切り口(課題)に対して目標を立てます)

=カード法の流れ=

1、カード 記入上の注意点

「自分にできる事・地域でできる事」3~5枚カード記入
1カードに1つ・簡単明瞭に・具体的に・大きな文字で
氏名記入（イニシャル可）
人の意見は参考にしなくて良い

2、内容確認・共有

自己紹介しながらカードを説明する
（カードの意味を確認する）

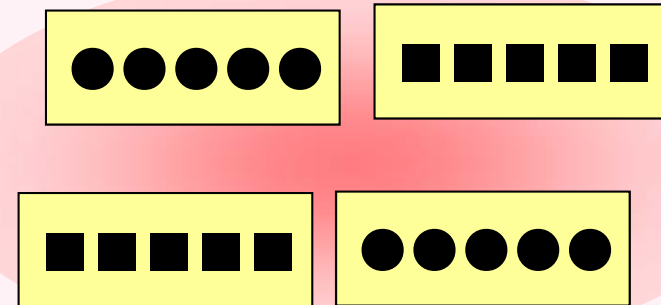
3、グループ化

内容が近い（似ている）と感じられるカードを寄せ集める

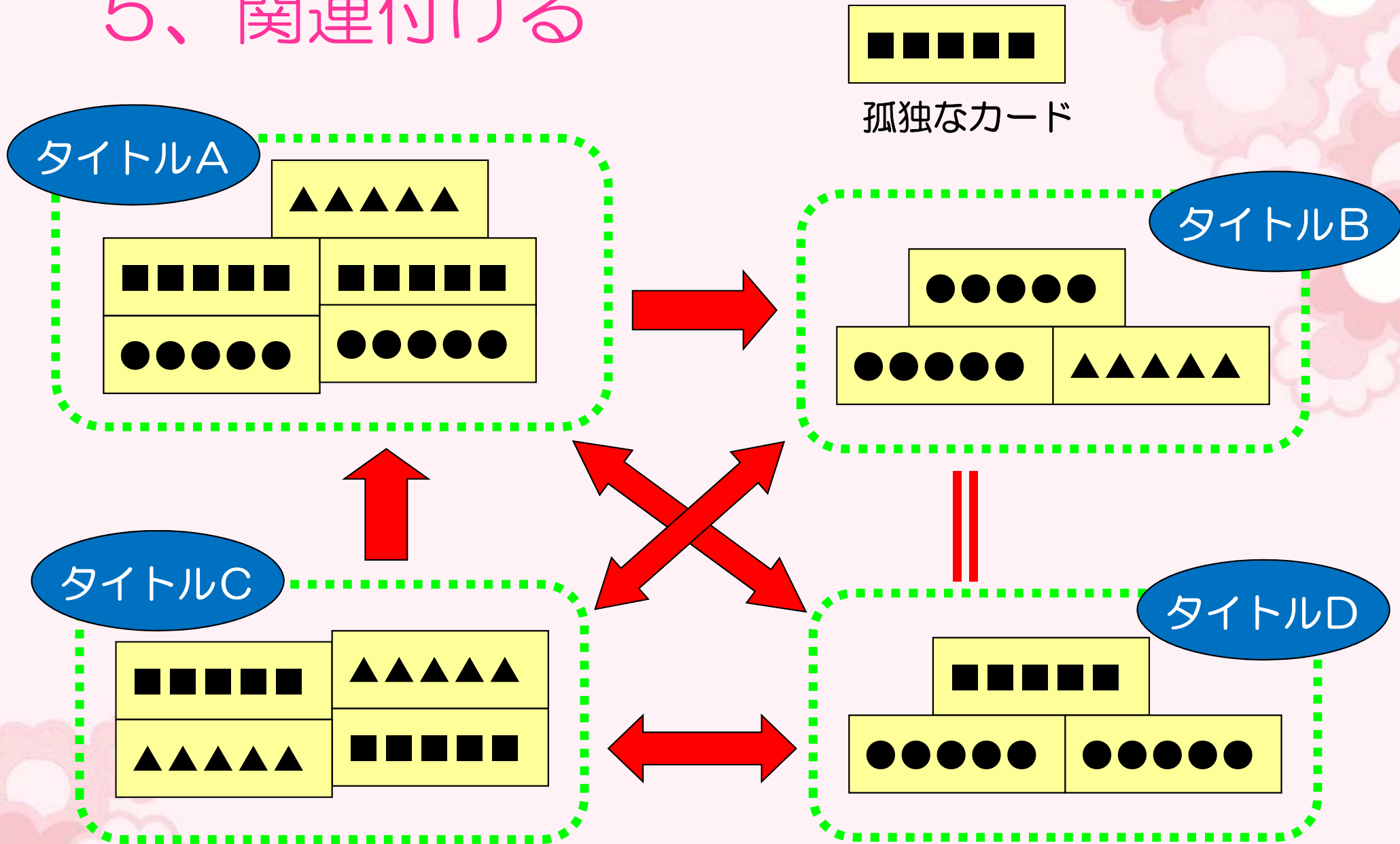
4、タイトル（表札）をつける

問題点・内容を整理し島を作る

タイトルA



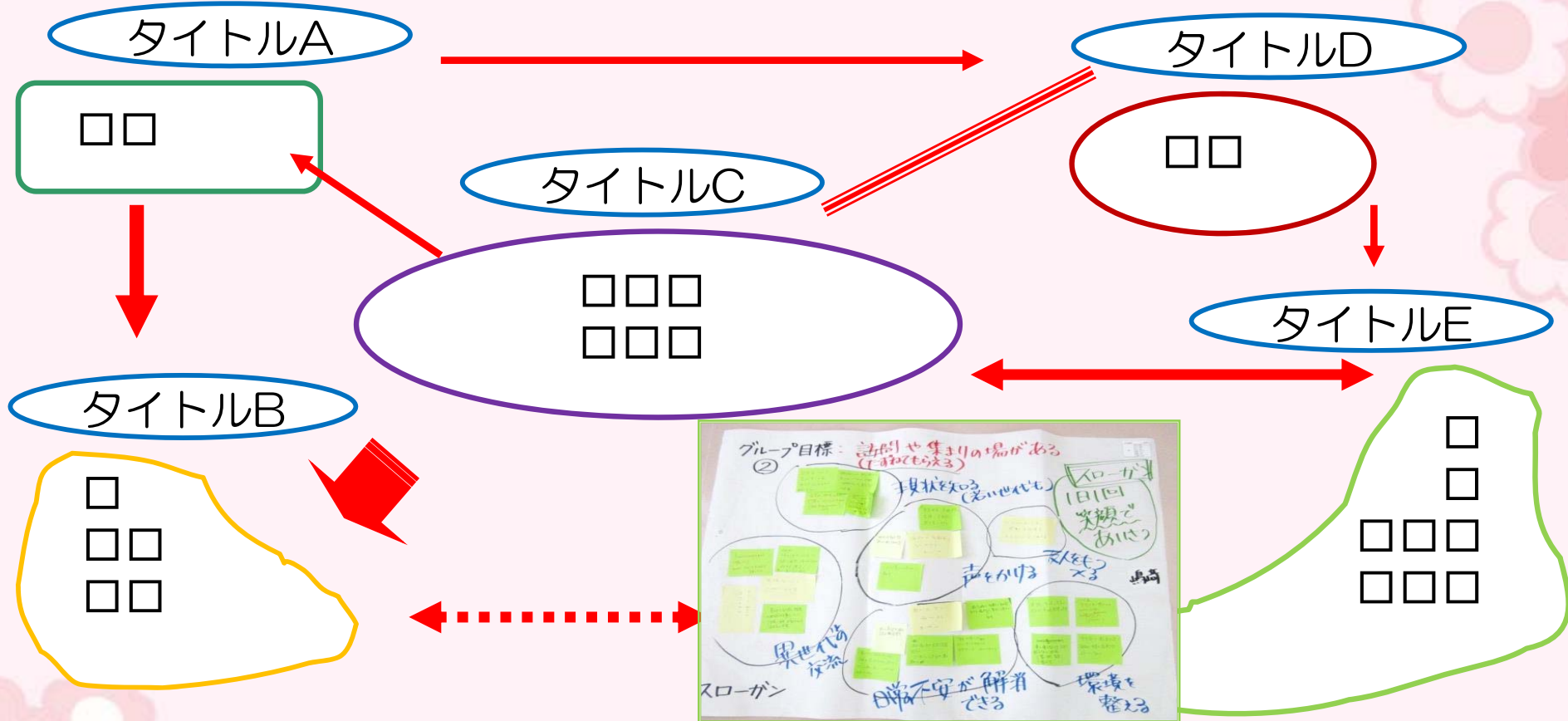
5、関連付ける



6、図式化・まとめ ⇒ 発表



「ぶれない目標」



❁ 実現可能なグループのスローガン (主義・主張・標語)